

○関西広域連合議会等からの提言

No	会議等	提言内容	関係する分野	環 流	分 類 機 関	ハ ブ
1	29年7月議会	構成府県市が取り組んでいる出合いサポーター事業の広域化の検討。		○		
2	29年7月議会	関西圏域の人口の社会増の実施に向け「カムバックかんさい東京センター（仮称）」を設置するなど、各府県で展開する施策の共同実施。		○		
3	30年3月議会	地域の自立を支援し、府県を跨ぐ新しい地域間交流を促進すること。		○		
4	30年3月議会	大阪・京都に集中する観光客を地域へ分散する取組を図ること。	(観光)	○		
5	30年3月議会	関西で活躍する人材のネットワーク化を図り、関西全体の政策コンセプトを提案するしくみの検討。		○		
6	29年7月議会	近年のトレイル愛好者の増加に伴い、トレイル協議会等との連携による山陰海岸ジオパークエリア内におけるトレイルユースやサイクリングコースの設定。	(観光)	○		○
7	29年広域連合協議会	23か所の関西の生かしたい自然エリアと美の伝説や日本遺産等をリンクさせた体験型の観光施策の展開。	(環境) (観光)	○		○
8	29年8月市町村意見交換会	広域連携DMOである関西観光本部と地方のDMOとの連携。	(観光)	○	○	
9	29年産業常委員会	文化財の維持管理だけでなく、その具体的な活用方策の検討。	(文化)	○		
10	29年広域連合協議会	寺社仏閣の老朽化が進む中、職人の育成も含めた観光資源の保護モデルの構築。	(文化)	○		
11	29年広域連合協議会	伝統文化の継承とは、次の世代の子どもたちがその地域の魅力を知り、発信していくことであることから、地方の文化力、芸術、伝統芸能を残すための方策の検討。	(文化)	○		
12	29年11月議会	個々の自治体だけでは強化、育成が難しいアスリート向けの練習会や地域スポーツの指導者に対して専門的知識を得る機会をつくる等、オール関西としてスポーツ人材の育成やスポーツへの参加機会の拡充、機運醸成を図る取組の実施。	(スポーツ)	○		
13	29年関西連合意見交換会	企業や大学スポーツの振興や、トップアスリートの育成、競技施設のあり方、健康と観光産業とのシナジー等について	(スポーツ)	○		
14	30年総務常委員会	自然を観光資源と捉え、スポーツツーリズムとして、スキーやカヌー等の自然を楽しめるスポーツの推進	(観光) (スポーツ)	○		○
15	29年11月議会	より多くの人に関西の産物を食べていただくために「おいしい! KANSAI 応援企業」の登録施設について、現状の杜食食堂を有する企業等だけでなく、病院やホテルを追加すること。	(農林水産)	○		○
16	29年産業常委員会	次世代自動車の普及啓発について、積極的に、広域でなければできない取組を行うこと。	(環境)	○		
17	29年広域連合協議会	特定外来生物による被害発生防止について、拡散防止に向けた取組の実施。	(環境)	○		
18	29年8月議会	きれいな水環境で暮らせる関西全域に向けて、住民が水辺の環境を考える日とする「水辺の日（仮称）」の制定	(環境)	○		
19	30年7月連合議会	帰宅困難者対策について、広域的な観点から、広域連合がリーダーシップを発揮して取り組むことが重要	(防災)	○		
20	30年7月連合議会	さらなる地方部への誘客のために、地方部にあるジオパークの活用や、サイクリングルートの広域的な連携、認知度向上の取組などが効果的	(観光)	○		○
21	30年7月連合議会	住民、観光客の安全安心を守るためにも、関西広域連合として、観光客向け情報発信ツール等を活用した違法民泊に係る注意喚起や、構成府県市で登録されている住宅宿泊事業者の情報を掲載するなどの取組の検討	(観光)	○		○
22	30年7月連合議会	関西の誇るべき伝統文化を学び対話しながら、また「関西」をコンセプトとする音楽や芸術、舞台、映画、アニメなどの現代的な新しい芸術作品を、海外からも参加者を募り同時に関西圏域の芸術家も参加できるように、総合的な国際芸術祭のようなもの開催を企画するなど、芸術・文化に視点を当てて「文化観光首都・関西」として「KANSAI」ブランドを発信していくことが重要。	(文化)	○		

○関西広域連合議会等からの提言

No	会議等	提言内容	関係する分野	環 流	分 及 種 別	ハ ブ
23	30年7月連合議会	サイクリングは、誰でも、手軽に始められることができる。健康寿命の増進にも寄与することが期待されるため、積極的に普及させていくべき。	(スポーツ)	○		
24	30年7月連合議会	府県を越えて広域に移動するカワウ対策においては、カワウの生息動向を広域で把握することが重要。	(環境)	○		
25	30年3月議会	各府県市の戦略的輸出産物の海外展開を行うため、関西国際空港周辺地域において、輸出、製品、加工を行うセンターの設置と、輸送技術開発のため、関係者で構成する研究開発のための推進組織の設置。	(農林水産)		○	
26	30年7月連合議会	すでに海外認知度の高い神戸ビーフや近江牛を先鋒に、スケールメリットを活かした効果的な取組を検討すべき。	(農林水産)		○	
27	29年7月議会	地域医療体制の確保や地域での医師育成の観点等から、地域限定医師免許の制度化及び免許発行を広域連合の権限とすること並びに将来的には医師免許について、国ではなく広域連合が発行することについて国への要望の検討。	(医療)	○	○	
28	29年関西連合意見交換会	健康医療分野、観光分野に加えて、AI、ロボット、環境エネルギー産業等、官民連携の強化による関西の成長エンジンとなる新たな産業の創出。	(産業振興)	○	○	
29	30年7月連合議会	畜産業の人材の育成・確保に向け、各府県が持っているノウハウを関西全域で共有することが有用ではないか。	(農林水産)	○	○	
30	30年8月関西連合との意見交換会	各府県市の公設試験研究機関が連携、機能を強化し、「関西版アラウンホーンフアア」とも言うべき総合的・広域的なサポート体制を構築していくことを提案する。	(産業振興)	○	○	
31	30年7月連合議会	「医療法及び医師法の一部を改正する法律案」では、地域枠の医師については、都道府県主体での派遣方針の決定など、都道府県が管内の関係者と連携して医師偏在対策を進めることができよう。実施体制が強化されることから、関西広域連合を一つの自治体と考え、連合が主体的に地域における医療提供体制の確保が行えるよう国への要望を行うべき。	(医療)	○	○	
32	30年7月連合議会	PHV・EV・水素自動車などの普及にあたっては電気自動車充電器や水素ステーションの整備拡大が不可欠である。	(環境)	○	○	
33	30年3月議会	国際交流を促進し海外の高度人材を確保すること。		○	○	
34	29年11月議会	けいはんな学研都市をはじめとする各地の拠点機能を有機的に結びつけ、他に類を見ないイノベーションを生み出すための広域連合の役割の検討。	(産業振興)	○	○	
35	29年8月議会	明治維新150年を機に、関西にゆかりのある偉人やその足跡など歴史・文化を切り口とした訪日外国人観光客を誘致する周遊ルートの設定等の検討	(観光)	○	○	
36	29年7月議会	観光振興策の推進にあたっては、インバウンドが重要となるため、日本人だけではなく、外国人の意見が反映できるように外国人の活用等の検討。	(観光)	○	○	
37	29年8月市町村意見交換会	関西の各地域の伝統文化を観光文化としてインバウンド誘客の推進とその魅力の情報発信。	(文化) (観光)	○	○	
38	29年広域連合協議会 29年産業常委員会	インバウンド施策の効果の一つに経済波及効果があげられることから、実際の観光消費の把握や夜間にお金を消費する仕組みの構築。	(観光)	○	○	
39	29年7月議会	文化庁の全面的移転と東京オリンピック・パラリンピック等の大会開催を機に、文化庁との連携強化による新たな取組の実施。	(文化) (スポーツ)	○	○	
40	29年11月議会	関西全体の魅力を文化の面から一層向上させるため、文化庁との連携強化による新たな取組の実施。	(文化)	○	○	
41	29年広域連合協議会	広域連合内の大学間でのフィールドワークや研究を基盤とした交流の活性化等のジョイント・ディグリーの実行や、例えば環境人材育成の部門で複数の大学が協働して教育プログラムを策定するなど、自由に大学や教員が交流を行えるシステムの導入など、広域連合内の若い世代の人材育成の強化。	(文化)	○	○	